

3学期が始まり約1か月が過ぎましたが、3学期の始業式での「園長先生のお話」の「園長の思い」について触れたいと思います。

初めに、「これからえんちょうせんせいが、じをかいていきます。かいたらよんでください」と言っていて、書き始めました。多くの子どもたちが、大きな声で楽しそうに読みました。さくら組さんだけでなくすみれ組さんからも声が聞こえていました。これは、さくら組さんには、4月からは小学校なので、ひらがなの読み書きを、卒園するまでにしっかりと、すみれ組さん、ばら組さんには、ひらがなへの興味関心をここぞとばかりに高められれば、というねらいでした。2学期の終業式でもひらがなを書き、読ませましたが、今回は、読める子どもが結構増え、さらに自信を持って大きな声になったような気がしました。書いた文字は、「あけましておめでとうございます」でした。年頭のご挨拶でもありました。

次に、「げんきに ごあいさつ。 なかよく あそんで きちんと あとかたづけ。」と書きました。これは、今年の目標であり、毎年の目標でもあります。これまでも何度か言ってきたことなので、「げんきに」と書くと、「ごあいさつ」と数十名から声が聞こえてきました。「なかよく」、「きちんと」の次もそうでした。結構浸透してきたことが分かり、嬉しかったです。ちなみにこの一文は、日々の幼稚園生活を通して子どもたちに身につけさせたいことであり、これがきちんとできるようになれば、立派な幼稚園生であり、自信を持って小学校に送り出すことができるし、大きく飛躍すれば、教育基本法で謳われる「人格の完成」に近づけると思ったのでした。

最後は、十二支の覚え方でした。「えんちょうせんせいのいったことを、まねしてください」と言っていて、まずは「ね」と言いました。大きな声で「ね」と返ってきました。「ね うし」と言うように楽しそうに「ね うし」と返ってきました。ここまでくると、覚えているお友達が何人かいて、最後まで言いました。これはすごいことであり、覚えたお友達は称賛に値するので褒め称えようと、ステージにあがってもらい、十二支を言ってもらいました。すらすらと大きな声で発表できました。4人に発表してもらいました。自信をつけたことと思います。その後、「ね うし とら う」「たつみ うま ひつじ」「さる とり いぬ い」を言わせました。いっぱい繰り返して、全員言えるようにしたかったのですが、それには時間が絶対的に足りませんので、まとめることにしました。「十二支も、これから行われるカルタやなわとびも、**少しずつ、繰り返す**と、できるようになります」と。

思いはいっぱいあったのですが、はたして、どこまでつたわったか・・・。

それこそ、今後も、少しずつ、繰り返して伝えていきたいと思います。



【寒さをもろともせず、元気いっぱいあそんでいます！！】



【熱戦が繰り広げられたカルタ大会！！】